

(人材育成の取り組み－N－1)

関前高速通信導入推進協議会 (愛媛県今治市関前)

【概要】

平成24年9月から、総務省の「ICT地域マネージャー派遣制度」を活用して今治市関前の高速通信導入検討と、人材育成を行っている。本事業では、ICT環境整備(ブロードバンド整備)の課題を洗い出すとともに、ICT人材の育成を図るための勉強会を開催している。

【コラム】

愛媛県今治市の関前地区(岡村島、小大下島、大下島)は、光回線が整備されている広島県呉市島嶼部と「とびしま海道」で連絡されているものの、県境にあり、ISDN回線のみでの整備に留まっている。このため離島部のICT環境が立ち遅れている状況にある。

それを解消すべく、平成24年9月より勉強会「誰にでもわかる高速通信の基礎」を開催してきた。勉強会では、この17年間で通信速度が如何に速くなったかを示し、現在ISDN環境である関前に対して、もしブロードバンドが整備されればどのようなことが可能になるかを示してきた。勉強会では、関前(岡村島)で使用可能なWiMAXを利用してネットワークに接続し実例を示してきたが、やはり通信速度はISDNの数倍程度しか出ない状況で、電波を受信できる場所も限定されていた。現在では、LTEなど無線通信環境は整ってきているものの、常時活用できるインフラとしては、不十分な状況である(LTEには、月7GBの容量制限があり、毎日、高画質な映像を見ていると1週間程度で通信速度に制限がかかってしまう)。

平成24年10月から、関前諸島の情報発信サイト「きないやせきぜん」をプラットフォームに、いかに情報発信していくかも検討している。基本的にISDN環境しかないため、重たい動画などをアップすることができない状況であるが、画像などはできるだけシンプルにして、とにかく情報発信につとめている。今後、ブロードバンド化を前提に、より高品質なコンテンツ(映像や画像)を制作して、観光客など、人々の流入につなげていくかを検討している(移住促進にもブロードバンドは必須である)。また、新たな商売(eコマース)の仕組みも検討している。平成25年10月には、関前岡村港務所(フェリーの待合室)に、無線LANのフリースポットも設置された。これにより、島民のICT利活用に対する機運は高まってきている。

地域情報化を成功させるためには、やはり現地に人材がいることが最大のキーポイントである。いくらアドバイスを行っても、情報化を理解できる人材と、それを実現できる人材、指示したことをすぐに実行できる人材がいなければ、まるで前進しない。そういう意味で、「人材」は大きなキーワードである。幸いなことに、関前にはICT技術に長けた2人の地域おこし協力隊員がいる。メールでの指示も的確にこなしてくれて、勉強会の準備から関前地域のICT環境調査(電波状況の調査)まで全て彼らが行っている。彼らは、コンテンツ制作に関する「感性」と「技術」も素晴らしいものを持っている。また関前には「人」を含め、素晴らしい地域資源がたくさんある。ブロードバンド環境が実現できれば、人口の増加(観光、移住など)、産業の活性化に向けて様々な取り組みが展開できるし、とびしま海道、しまなみ海道など、地域全体を繋げて活性化が図れると考えている。関前におけるICT地域マネージャーとしての派遣は平成25年2月で終了したが、勉強会は3月以降も自主運営で行われ、5月には関前地域でブロードバンド整備とICT利活用を検討する「関前高速通信導入推進協議会」が立ち上がり、さらに検討が進められている。平成25年9月か

ら再び、2ヶ月に一度、総務省のICT地域マネージャー派遣制度のフォローアップ派遣として現在も関前に出向いている。昨年度は勉強会が開催できなかった大下島、小大下島にも出向いて、ブロードバンド整備後の利活用についての勉強会を行っている。ブロードバンドによって、如何に生活コストが削減できるか、生活の利便性が高まるかを説明し、理解してもらっている。自治体にとっても、管理コストの削減が可能となる(住民サービスも高度化できる)。このことを、多くの自治体にも理解していただきたいと考えている。

今治市関前地区は、瀬戸内海国立公園の中心に位置し、景観といい、海産物といい、柑橘といい、人々といい、素晴らしい地域資源をもっている。今後、関前でだけではなく日本のICTの利活用には、視点(パラダイム)の転換が必要である。新たな視点で見ると、瀬戸内海地域(日本)は資源の宝庫であり、ライフスタイル・ビジネススタイル、社会通念を転換させると、瀬戸内海地域(日本)は素晴らしいエリア(地域)となる可能性がある。生活様式をダウンシフトさせ、今までの出世競争や長時間労働、生活環境を見直し、よりゆとりのあるストレスの少ない生活に切り替えることにより、新たな価値が創造されると考えている。ICTの利活用は、まさに新たな価値創造への鍵である。これから必要なことは、今までに経験したことのないスマート社会の実現である。



今治市関前の位置



高速通信導入勉強会の風景



関前諸島のホームページ「さないやせきぜん」
<http://sekizenweb.com/>

(問い合わせ先)

関前支所 総務課 地域おこし協力隊 成田晶彦
 TEL:0897-88-2111(内線 66011)
 e-mail:chiikiokosill@imabari-city.jp